

会設立 **50** 周年記念誌
50th Anniversary

浜名湖

目次

- ◆ 浜名湖の姿
- ◆ 「浜名湖の水をきれいにする会」の活動
- ◆ 美しく豊かな浜名湖を未来に受け継ごう



浜名湖の水をきれいにする会

浜名湖の姿

～人の営みと生きものを支える里海～

里海とは

都市域と人の手が加わっていない自然との中間に位置し、様々な人間の働きかけを通じて環境が形成されてきた地域であり、「里山」と同様に、人の暮らしと自然の営みが密接に関わる沿岸海域をいいます。

汽水湖

浜名湖は、日本のほぼ中央に位置する汽水湖です。汽水湖とは、海水と淡水が混ざり合った湖で、浜名湖は幅200mの今切口で遠州灘とつながっています。こうした特長から、浜名湖は地理上では「湖」、河川法上では「川」（都田川水系）、漁業法では「海」として扱われます。1日2回の潮汐では、約4,000万トンの水が出入りしており、汽水湖というより「塩水湖」といっても良いくらいです。汽水湖は、川を通して運ばれる栄養分や潮汐による外海とのつながりから、一般的に、栄養が豊富な場所となります。浜名湖には計794種の魚介類が確認されています（魚類470種、貝類136種、カニ類97種、エビ類53種、ヤドカリ・シヤコ類24種、イカ・タコ類14種／平成26年1月静岡県水産技術研究所浜名湖分場調べ）。



水産業

浜名湖の代表的な漁法は「採貝」「角建網（袋網漁）」で、観光として「たきや漁」も行われています。ウナギのほかにノリやカキなどの養殖、遠州灘のシラス漁やトラフグ漁、ハモ漁も行われています。



マリンレジャー



野鳥観察



サイクリング



水の巡り

浜名湖の周囲には森林があり、川があります。森に降った雨が川を伝い、また、地下水（伏流水）になり、浜名湖に流れ込みます。流れ込む水には、栄養分が含まれており、浜名湖の水を豊かにします。これにより、小型の魚介類やアサリ・カキのエサとなるプランクトンが増え、浜名湖の生態系のすそ野を広くします。浜名湖の水は今切口から遠州灘に流れ出し、最終的には、蒸発してまた雨となり、浜名湖の周囲の森林に降り注ぎます。

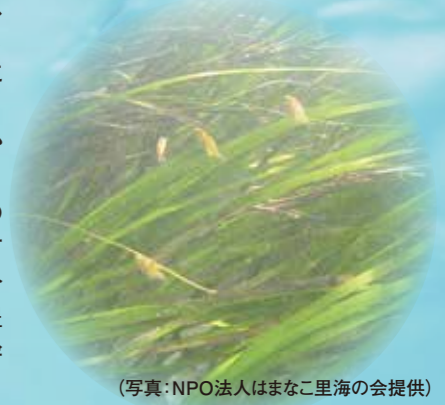
多様な景観をもつ湖

浜名湖の面積は日本の湖沼の中で10番目の大きさです。手のひらを広げたような形をした浜名湖には、細江湖、猪鼻湖、松見ヶ浦、庄内湖の4つの枝湾があります。このため、浜名湖の周囲の長さは日本で2番目で、面積の割に入り組んだ地形をしていることが分かります。浜名湖の周囲を巡れば、砂浜と湖、田畑と湖、街並みと湖、果樹園と湖、山間と湖といった多様な景観を有しています。

- 浜名湖の基礎情報（理科年表より）
 - ◇ 面積 70.4km²（全国第10位）
 - ◇ 周囲 128km（全国第2位）
 - ◇ 水深 平均4.8m（最大13.1m）

海のゆりかご「アマモ場」

「アマモ」とは、海草の一種で、海藻とは異なり、根や茎があり花も咲かせます。アマモが群生している場所を「アマモ場」といいます。アマモ場は、水流が穏やかなため、大型の魚にとっては、エサ場であるとともに、産卵場所でもあります。また、孵化した稚魚や小型の魚介類にとっては、大型の魚から身を守る場所です。成長した魚は、遠州灘に出ていきます。このため、アマモ場は「海のゆりかご」と呼ばれています。全国的にはアマモ場の減少が言われていますが、浜名湖には広大に分布しており、浜名湖の豊かな生物多様性を根幹で支えています。



（写真：NPO法人はまなこ里海の会提供）

（その他の写真は浜松市提供）

「浜名湖の水をきれいにする会」の活動

「浜名湖の水をきれいにする会」は、浜名湖の水質及び環境の保全と適正な利用の推進を図ることを目的に、昭和40年(1965)に設立されました。浜名湖に接する自治体、漁業協同組合、農業協同組合、商工会議所・商工会、観光協会、事業者で組織しています。

浜名湖クリーン作戦

昭和54年(1979)から毎年6月第一日曜日に、自治会、地域の事業者、各種団体など多数の人々のご協力をいただき、湖岸の清掃活動を行っています。



広報啓発事業

浜名湖の環境保全や本会の事業について、啓発品を作製・配布したり、ホームページで情報発信をしたりしています。



湖水美化功労表彰

浜名湖の水質保全や環境美化活動の功績顕著な個人・団体の表彰を行っています。



これまでの活動

浜名湖の水質及び環境保全について様々な活動を行ってきました。

- 広報紙「浜名湖の水」の発行
- 工場パトロール
- 不法投棄パトロール
- 公害防止講習会
- 全国閉鎖性海域環境保全連絡協議会への参加



湖上セミナー



浜名湖の上流の水を守る運動



湖水美化ポスターコンクール

環境保全啓発事業

浜名湖の水環境の保全を進めていくためには、人々が浜名湖やそこに生きる人、生きもの、水のことをよく知り、ともに生活できる幸せと自然の恵みに感謝する気持ちを持つことが重要であるため、浜名湖の自然環境や生業に関する体験学習を実施しています。

● アマモ場生きもの観察会&袋網漁見学会



● 海苔摘み&海苔すき体験会

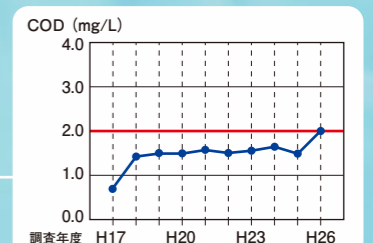
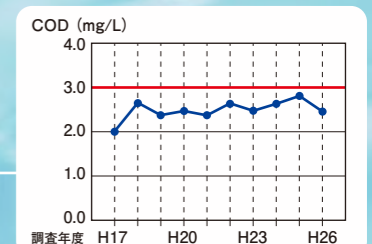
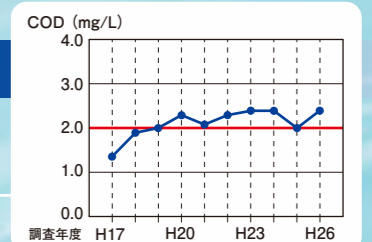
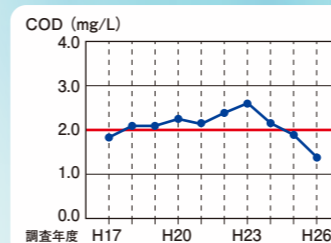
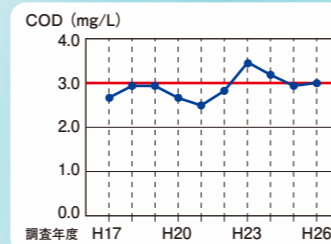


浜名湖の水質

近年の浜名湖の水質は、年次変動はありますが、概ね環境基準を満たしています。COD[®]の値は、湖北部の方が、湖南部よりも高い傾向です。水深があり、また、今切口から遠いため潮汐による水の入替わりが少ないためです。

※COD: 化学的酸素要求量: 水の汚れの目安。値が高いほど水が汚れていることを示す。

● COD (75%値)
● COD基準値



(出典: 浜松市/浜松市の環境の現状と対策)
(出典: 静岡県/静岡県公共用水域及び地下水の水質測定結果)

美しく豊かな浜名湖を 未来に受け継ごう

浜名湖は、手つかずの自然の中にある湖でもなく、周辺環境が整備された街中の湖でもない、魚や鳥などの生きものや水産業・観光などの人の営みと密接に関わりのある湖です。浜名湖の水質や環境の保全と適正な利用の推進を図るためには、まず、浜名湖のことを知り、身近な存在として感じることが大切です。その上で、美しく豊かな浜名湖やその恩恵を次の世代に受け継いでいくために、私たち一人一人ができることに取り組んでいきましょう。

過去

- 6000年前: 現在の形の内湾になる。
- 3000年前: 海から運び込まれた砂によって湾口部がせきとめられ、汽水湖になる。
- 1800年前: 水位が海面より高くなり、淡水湖となる。
- 1498年: 明応地震による津波で今切口が決壊して汽水湖になる。
- 1600年: 徳川家康が今切に関所を設置する。
- 1821年: 新居関所と気賀関所の廃止
- 1869年: ノリの養殖法が伝えられる。
- 1887年: カキの養殖が始まる。
- 1889年: 東海道線開通
- 1900年: ウナギとスッポンの養殖が始まる。
- 1932年: 国道の浜名橋が開通し、渡船が終了する。
- 1965年: 浜名湖の水をきれいにする会設立
- 1978年: 浜名大橋完成
- 2004年: 国際園芸博覧会（浜名湖花博）開催
- 2014年: 浜名湖観光圏認定

現在 → **未来**

私たちにできること

家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ご飯は残さず食べましょう。 ・台所の三角コーナーには細かい目のネットをつけて、調理くずなどを流さないようにしましょう。 ・食器や鍋のよごれは、紙などでふきとってから洗いましょう。 ・使用済みの天ぷら油は水に流さないようにしましょう。 ・調理くずや食べ残しは、ごみとして出すか、肥料にしましょう。 ・洗剤は適した量を使いましょう。
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・緑を守り育てましょう。 ・浜名湖の豊かな自然を体感して魅力を再発見してみましょう。
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・肥料はやり過ぎないようにしましょう。 ・農薬は正しく使いましょう。 ・ビニールや使用済み農薬は適正に処理しましょう。
水産業	<ul style="list-style-type: none"> ・漁具は放置しないようにしましょう。 ・水産資源保護・管理に努めましょう。
工場	<ul style="list-style-type: none"> ・処理施設は適正な管理を行いましょう。 ・節水や再利用に努めましょう。
魚釣り	<ul style="list-style-type: none"> ・ハリや糸、エサの残りカスを捨てないようにしましょう。
観光・レジャー	<ul style="list-style-type: none"> ・空きカンやごみの投げ捨てはやめましょう。 ・ごみは持ち帰りましょう。

(写真: NPO法人はまなこ里海の会提供)

(写真: 遠江国浜名湖之図: 湖西市所蔵)

(写真: 湖西市提供)

浜名湖環境憲章

浜名湖のきれいな水、美しい景観、豊富な海の幸はわたくしたちの支えです。その支えが家庭排水やごみの投げ捨てなどによって壊されようとしています。わたくしたちは自らの意思と実践によって、より良い浜名湖の環境をつくり、郷土愛を育てるために、みんなで守る規範として浜名湖環境憲章を定めます。

浜名湖に生活できる幸せと、自然の恵みに感謝し、豊かな浜名湖を守ろう。

人、魚、水が語り合う喜びを大切にし、親しみある浜名湖をきれいにしよう。

子どもたちに、自然を愛する心をはぐくみ、美しい浜名湖を永遠に伝えよう。

(昭和59年11月25日制定)